

北海道アウトドアフォーラム 2019

趣旨 北海道の大自然を活動の場にする、教育・観光・施設等の関係者が一堂に会し、情報交換や交流を行うことで、青少年の体験活動の推進を図るとともに、地域ミーティングや若手研修会など、団体や立場を超えた取り組みやつながりを生み出し、道内の自然体験活動や野外教育活動の振興に資する。

企画運営のポイント 事業の企画や広報、当日の運営について、過去の参加者による協力体制を整えることで、時事やニーズにあった内容とすることができた。

期日：令和元年10月29日（火）～10月31日（木）

会場：国立日高青少年自然の家

対象：道内のアウトドア事業者、自然体験活動団体職員、青少年教育施設職員、教育関係者、行政職員、学生等

人数：201名



7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
Day 1					受付	開会	会場準備	基調講演	事務連絡	写真撮影	移動	プレゼンテーション 2会場	夕食	入浴 会場準備	情報交換会 ①
Day 2	朝活 プログラム ①	朝食	選択 ワークショップ ①	移動	選択 ワークショップ ②	昼食	選択 ワークショップ ③	移動	選択 ワークショップ ④	自由交流	夕食	入浴 会場準備	情報交換会 ②		
Day 3	朝活 プログラム ②	朝食	移動	選択 ワークショップ ⑤	移動	全体 ワークショップ	閉会								



日本全国から集まりました



30種類のワークショップ



最後は全員で思いの発信と受信

【成果】

- ・アウトドア事業者の他、行政職員や学校教員等、多様な参加者の交流によって、お互いにとって新鮮な気づきを得ることができた。
- ・学生の参加が増加傾向にある中、昨年の参加者が運営スタッフが経営する事業所に就職し、今回は事業者として参加する等、「仕事」が生れてきている。
- ・参加者が主体的に参画できるような仕組みを構築することで、参加者同士のネットワークが広がりをみせている。
- ・展示会場をメイン会場としたことで、多くの団体、企業がPRする機会を設けることができた。

【課題】

- ・日程や内容が充実し、事業規模が拡大され参加者も増えているが、今後の展望（ビジョン）を主催及び運営スタッフとで共有し、明確に発信していく必要がある。